

平成 23 年度 決算 に 係 る
定 期 監 査 調 書

平成 24 年 5 月

倉吉家畜保健衛生所

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	4 頁
8	収入事務処理状況調べ	4 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	6 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	6 頁
11	不納欠損額調べ	6 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	6 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	9 頁
14	財産に関する調べ	9 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	11 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	11 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	12 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	12 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	12 頁
20	備品の処分状況調べ	12 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	12 頁
22	事業別予算執行状況	13 頁
23	家畜保健衛生事業	13 頁
24	家畜病性鑑定事業	16 頁
25	意見、要望等	17 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
/	衛生指導担当	家畜保健衛生指導に関すること 獣医事に関すること 動物薬事に関すること 畜産振興に関すること
	防疫担当	家畜伝染病の防疫に関すること
	病性鑑定室	家畜の病性鑑定の特殊検査に関すること 牛海綿状脳症（BSE）に関すること

4 職員の定員、現員調べ

（平成24年4月1日現在）

区分	種 別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
		当 該 年 度	24.4.1 現 在	当 該 年 度	24.4.1 現 在	当 該 年 度	24.4.1 現 在	当 該 年 度	24.4.1 現 在	
定 員		0	0	14	14	0	0	14	14	
現 員		(0) 0	(0) 0	(0) 14	(0) 14	(0) 0	(0) 0	(0) 14	(0) 14	
過不足(△)		0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員		0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員		1	1	3	3	3	3	7	7	事 務:1名 獣 医 師:1名 現業技術員:1名 (死亡牛一時保管施設) 獣 医 師:2名 畜産技手:2名

5 役付職員の調べ

（平成24年5月1日現在）

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
所 長	山里比呂志	1年 1月	継続勤務期間2年1月
病性鑑定室長	上田 英己	1年 1月	
次 長	井上 禎文	1年 1月	出納員

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要																											
<p>家畜伝染病予防事業</p> <p>決算見込額 17,432千円 (財源内訳) 国庫支出金 7,985千円 一般財源 7,686千円 その他 1,761千円</p> <p>○将来ビジョン I ひらく (4)素材が良く、安全安心で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業</p> <p>○政策項目 II 産業未来・雇用創造 3 「食のみやこ鳥取県」の確立</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 家畜の伝染病の発生を予防するための各種検査とまん延防止措置を行う。 また、牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、県内における24カ月齢以上の死亡牛に対するBSE検査を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況(平成23年12月31日現在)</p> <p>○家畜伝染病の摘発 届出伝染病(家畜伝染病予防法第4条): 4件</p> <p>○家畜伝染病予防法第5条に基づく告示検査</p> <table border="0"> <tr> <td>〈牛〉</td> <td>・ブルセラ病</td> <td>: 1,289頭</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・結核病</td> <td>: 1,309頭</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ヨ一ネ病</td> <td>: 2,489頭</td> </tr> <tr> <td>〈馬〉</td> <td>・伝染性貧血</td> <td>: 4頭</td> </tr> <tr> <td>〈鶏〉</td> <td>・ニューカッスル病</td> <td>: 4,870羽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ひな白痢</td> <td>: 3,680羽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・マイコプラズマ病</td> <td>: 3,680羽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・高病原性鳥インフルエンザ</td> <td>: 350羽</td> </tr> <tr> <td>〈蜜蜂〉</td> <td>・ふそ病</td> <td>: 40群</td> </tr> </table> <p>○死亡牛BSE検査 ・検査頭数: 346頭</p> <p>○家畜伝染病の侵入防止対策 ・口蹄疫: 防疫対策会議2回、防疫演習2回 ・高病原性鳥インフルエンザ: 防疫対策会議1回、防疫演習2回</p> <p>イ 平成23年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣諸国での口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザの発生に伴い、中部総合事務所、市町、JA等との連携強化、迅速な情報共有体制構築とともに、防疫演習実施により発生時の初動対応を確認した。また、埋却候補地の調査を行った。 ・平成23年度の家畜伝染病予防法の一部改正に伴う家畜飼養衛生管理基準等の改正内容を家畜の飼育者へ周知した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種検査を行い、届出伝染病4件(牛サルモネラ症1件、牛白血病3件)を摘発するとともに、発生農場に畜舎消毒、薬剤投与等を指示することでまん延を防止した。 ・死亡牛のBSE検査を実施し全ての陰性を確認することで、安全で安心できる畜産物生産体制構築の一助とした。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・届出伝染病4件の摘発があり、各種検査による監視の継続、伝染病の早期摘発、まん延防止を徹底、強化する必要がある。 ・口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザの発生時に関係各所が防疫マニュアルに基づく的確な対応ができるよう防疫演習等による十分な準備が必要である。 ・畜産農家が飼育する家畜以外で、口蹄疫では羊や山羊、高病原性鳥インフルエンザでは愛玩鶏やアヒルなどが防疫措置の対象となるため、市町と連携して飼育者に対する指導を徹底する必要がある。 	〈牛〉	・ブルセラ病	: 1,289頭		・結核病	: 1,309頭		・ヨ一ネ病	: 2,489頭	〈馬〉	・伝染性貧血	: 4頭	〈鶏〉	・ニューカッスル病	: 4,870羽		・ひな白痢	: 3,680羽		・マイコプラズマ病	: 3,680羽		・高病原性鳥インフルエンザ	: 350羽	〈蜜蜂〉	・ふそ病	: 40群
〈牛〉	・ブルセラ病	: 1,289頭																										
	・結核病	: 1,309頭																										
	・ヨ一ネ病	: 2,489頭																										
〈馬〉	・伝染性貧血	: 4頭																										
〈鶏〉	・ニューカッスル病	: 4,870羽																										
	・ひな白痢	: 3,680羽																										
	・マイコプラズマ病	: 3,680羽																										
	・高病原性鳥インフルエンザ	: 350羽																										
〈蜜蜂〉	・ふそ病	: 40群																										

事業名	概	要
<p>家畜衛生対策事業</p> <p>決算見込額 5,498千円 (財源内訳) 国庫支出金 2,749千円 一般財源 2,729千円 その他 20千円</p> <p>○将来ビジョン I ひらく (4)素材が良く、安全安心で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業</p> <p>○政策項目 II 産業未来・雇用創造 3「食のみやこ鳥取県」の確立</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 家畜衛生関連情報の収集と提供により、家畜衛生水準を維持、充実させるとともに、家畜の生産性を阻害する慢性疾病を排除し、生産性の改善と経営の安定を図る。また、動物用医薬品の使用、管理、流通の適正化を推進し、安全で安心できる畜産物の生産を指導する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○診断予防技術向上対策 全国規模で新しい診断技術を実証するための検査を実施した。 牛1戸(16頭 ヨーネ病)</p> <p>○動物用医薬品危機管理 動物用医薬品の適正管理、流通及び使用について指導を行うとともに、動物用医薬品の品質検査を行い監視した。</p> <p>1) 生産農家での薬剤耐性菌検査 牛2戸(2検体)、豚2戸(2検体)、鶏4戸(4検体)</p> <p>2) 動物用医薬品品質検査 1品目(1業者 3月実施予定)</p> <p>3) 動物用医薬品販売業者への立入検査 18店舗(3月実施予定)</p> <p>○地域衛生管理対策 地域内の慢性疾病等の検査・指導を行うとともに、飼養管理状況の確認を行い、発生予防及びまん延防止に役立つ仕組みづくりを検討した。</p> <p>1) 飼養衛生管理基準等の確認・指導 本年度改正された飼養衛生管理基準の遵守状況の確認及び指導を行った。 牛224戸・豚27戸 計251戸</p> <p>2) 乳房炎・幼畜疾病対策 畜産経営に影響の大きい乳房炎、下痢症及び肺炎の監視検査を実施した。 乳牛76検体、牛5戸、豚5戸</p> <p>3) 養豚繁殖衛生の推進 豚の異常産、不妊に関わる伝染性疾病的監視検査を行った。 豚5戸</p> <p>○流通飼料対策 飼料安全法に基づき、飼料中に肉骨粉が含まれないことの確認検査を実施した。 1品目(1業者 2月実施予定)</p> <p>イ 平成23年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域衛生管理対策では、問題点・実施目的を明確に農家、診療獣医師に説明を行うことで、衛生対策をより効果的なものにした。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家畜衛生対策事業として病気の早期発見と迅速な対応、予防対策の徹底などに取り組み、慢性疾病を排除することで、農家には経済効果が得られたものとする。 ・動物用医薬品の適正管理、使用の指導は、安全で安心できる畜産物の生産体制構築の一助となっている。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診断予防技術向上対策では、早期診断技術確立のために、引き続き、全国規模でのデータを蓄積し、検査精度の検証を行うことが必要である。 ・動物用医薬品危機管理対策、流通飼料対策では、畜産物の安全性を確保するため、今後とも監視体制を維持、充実させることが必要である。 ・地域衛生管理体制整備では、関係者が一体となって、経済的損失につながる病気の効果的な対処方法を広く普及、検証していく必要がある。 	

7 収入証紙取扱額調べ

(平成23年12月31日現在)

収入科目			件数	単価(円)	証紙はり付額(円)	備考
目	節	細節				
農林水産業 手数料	畜産業手数料	動物用医薬品販売業許可等手数料	2	11,000円	22,000	鳥取県手数料徴収条例第2条(53) 薬事法第24条第2項許可更新
			2	2,000円	4,000	鳥取県手数料徴収条例第2条(65) 薬事法施行令第45条第1項許可証書の書換交付
	計(節)		4		26,000	
	目計		4		26,000	
合計			4		26,000	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該当なし

(2) 使用料

(平成23年12月31日現在)(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料		10	132,513	132,513	0	0		
		計(節)		10	132,513	132,513	0	0	
	目計		10	132,513	132,513	0	0		
合計			10	132,513	132,513	0	0		

(3) 手数料

(平成23年12月31日現在) (単位: 円)

収入科目			件数	調停金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
農林水産業 手数料	畜産業手数料	家畜防疫手数料 〈内訳〉 ヨーネ病(ELISA) 結核病 ブルセラ病 家禽サルモネラ感染症 マイコプラズマ病 ふそ病	101 (1,871頭) (978頭) (1,230頭) (3,680羽) (3,680羽) (40群)	2,027,530 1,178,730 234,720 295,200 158,240 158,240 2,400	2,027,530	0	0	鳥取県手数料 徴収条例	@630 @240 @240 @43 @43 @60
		家畜保健衛生所手数料 〈内訳〉 牛白血病	1 (1頭)	2,390 2,390	2,390	0	0	鳥取県家畜保 健衛生所の名 称・位置及び 管轄区域等を 定める条例	@2,390
		計(節)	102	2,029,920	2,029,920	0	0		
目計			102	2,029,920	2,029,920	0	0		
合計			102	2,029,920	2,029,920	0	0		

(4) 財産収入

該当なし

(5) 諸収入

該当なし

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(平成23年12月31日現在) (単位: 円)

収入科目 (節)	収入済額	備 考
畜産業手数料	1,810,030	家畜防疫手数料
	0	家畜保健衛生所手数料
合 計	1,810,030 (94件)	

イ つり銭の状況 該当なし

9 収入未済額調べ 該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料移出状況調べ

(1) 負 担 金

(平成23年12月31日現在) (単位: 円)

予算科目 (目)	予算額令達額	負担金の名称	支 出 先	負担率	支出年月日	支 出 金 額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備 考
家畜保健衛生費								
支出額が10万円未満のもの						10,000		倉吉地区安全運転運行管理者協議会
目 計						10,000		
合 計						10,000		

(2) 補 助 金 該当なし

(3) 交 付 金 該当なし

(4) 委託料

(平成23年12月31日現在)(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更契約(最終)			契約形態					
					(契約年月日) 契約額	契約 期間						
家畜保健衛生費	国補	産業廃棄物 (汚泥)の収集 運搬及び処理 業務委託	三光(株)	65 80,000 (単価契約)	50 60,000 (単価契約)	23.6.17 ~ 24.3.31	23.6.14 (免除)	23.6.24外	精算	23.7.8外	1,146,600	特別管理産業廃棄物(感染性汚泥)の 収集運搬処分可能な業者
							随	23.7.4外				
家畜保健衛生費	単県	平成23年度ヒート ポンプエアコン保守点検業務委託	(株)ヤマト 米子支店	364,602	(23.6.22) 364,602	23.6.22 ~ 23.7.31	23.6.16 (免除)	23.7.12	精算	23.7.26	364,602	特殊構造のため特約店に 限定される。県内特約店は 1社のみであるため
							随	23.7.12				
家畜保健衛生費	単県	マルチースショック -保守点検業務委託	(有) 友田大洋堂	204,750	(23.7.13) 204,750	23.7.13 ~ 23.10.31	23.7.1 (免除)	23.7.29	精算	23.8.12	204,750	H18~H20 他社契約辞退 H21~H23 最低価格で落札
							随	23.8.1				
家畜保健衛生費	単県	分光蛍光光度 計保守点検業務委託	(有) 友田大洋堂	299,250	(23.8.1) 299,250	23.8.1 ~ 23.10.31	23.7.19 (免除)	23.8.19	精算	23.9.13	299,250	新規
							随	23.9.5				
家畜保健衛生費	単県	生物学用安全 キャビネット 保守点検業務委託	(有) 友田大洋堂	644,700	(23.8.1) 590,625	23.8.1 ~ 23.10.31	23.7.19 (免除)	23.9.28	精算	23.10.25	590,625	新規
							随	23.10.19				

予算科目 (目)	国補 単県 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完 了 年月日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			履行検査 年月日	支出 区分	支 出 年月日	
					変 更 契 約 (最 終)			契 約 形 態				
					(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間						
家畜保健衛生費	単県	自動ドア保守 点検業務委託	ナブコドア (株)	429,450	(23.4.1) 429,450		23.4.1 ~ 24.3.31	23.3.23 (免 除)		精算		
予定価格が20万円未満のもの											253,050	
目 計											2,858,877	
合 計											2,858,877	

13 工事請負費調べ 該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成23年12月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政 財産	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町 二丁目131	146.00	6,935,000	増加	H				H	146.00	6,935,000	
					減少	H				H			
	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町 二丁目132	991.24	12,924,275	増加	H				H	991.24	12,924,275	
					減少	H				H			
	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町 二丁目133	563.91	34,556,771	増加	H				H	563.91	34,556,771	
					減少	H				H			
計			1,701.15	54,416,046							1,701.15	54,416,046	
合計			1,701.15	54,416,046							1,701.15	54,416,046	

イ 建物

(平成23年12月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登 記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政 財産	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町	1,176.89	451,155,600	増加	H				H	1,176.89	451,155,600	
		二丁目132			減少	H			H				
	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町	78.00		増加	H				H	78.00		
		二丁目132			減少	H			H				
	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町	58.00		増加	H				H	58.00		
		二丁目132			減少	H			H				
計			1,312.89	451,155,600						1,312.89	451,155,600		
合 計			1,312.89	451,155,600						1,312.89	451,155,600		

- ウ 山林 該当なし
- エ 動 産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし
- オ 物 権 該当なし
- カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等） 該当なし
- キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成23年12月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	25,080 円	62,000 円	65,260 円	21,820 円	
収入印紙					
収入証紙					
タクシークーポン券					
鉄道バスプリペイドカード					
合 計	25,080	62,000	65,260	21,820	

イ タクシーチケットの受払状況 該当なし

(3) 債 権 該当なし

1 5 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成23年12月31日現在)

行政・普 通財産の 区分	貸 付 (使用許可) 目 的	所 在 地	数 量 又 は 面 積	貸 付 (使用許可) 年 月 日	当初貸付 (使用許可) 年 月 日	貸 付 (使用許可) 期 間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住 所 名	備 考
							単価	本年度の 貸付(使用)料		
行政財産	薬品冷蔵庫 設置場所	倉吉市清谷町 2丁目132	1.0㎡	H23.3.7	H22.1.18	H23.4.1 ~ H24.3.31	昇額・年額 7,980	7,980	鳥取市末広温泉町723 (社)鳥取県畜産振興機構 会長 坂根國之	
計								7,980		
合計								7,980		

(2) 物品 該当なし

1 6 借受不動産明細調べ 該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付 (使用) 料 (月額) (円)
行政財産	倉吉市清谷町二丁目132	10.81	1,233

イ 異動状況

(行政財産)

(平成23年12月31日現在)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免	人	うち減免	人	うち減免	人			
4月	15人	人	人	2人	2人	17人	5人	14,796円	/	/
5月	17	1	0			16	5	13,563		
6月	16					16	5	13,563		
7月	16					16	5	13,563		
8月	16					16	5	13,563		
9月	16					16	5	13,563		
10月	16					16	5	13,563		
11月	16					16	5	13,563		
12月	16			1	0	17	5	14,796		
1月										
2月										
3月										
合計								124,533	124,533円	0円

18 自動車 (二輪を除く) の管理状況調べ 該当なし

19 寄付物件の受納状況調べ 該当なし

20 備品の処分状況調べ 該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

2 2 事業別予算執行状況調べ

目 名	家畜保健衛生費	(平成23年12月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
家畜伝染病予防事業	「6 主な事業に関する調べに記載」	
家畜衛生対策事業	「6 主な事業に関する調べに記載」	
家畜保健衛生所管理運営事業	家畜保健衛生所の円滑な運営に要する経費 ・人件費 非常勤職員報酬、共済費 ・備品購入費 必要な検査機器、図書を購入 ・委託料 設備保守点検等委託経費 ・標準事務費 旅費、光熱水費、燃料費、役務費、消耗品費等 ・その他(工事請負費、負担金)	
口蹄疫総合防疫対策事業	・管内に口蹄疫が発生したことを想定した9/14防疫演習を実施するとともに、演習の一環として、殺処分家畜の埋却候補地の選定方法や埋却作業に要する時間・労力等を検証するために、埋却候補地の掘削を行い、今後の防疫措置の一助とした。	

2 3 家畜保健衛生事業

(1) 管内家畜類の飼養状況調べ

家畜種別	平成23年2月1日		前年同期		備 考	
乳用牛	82戸	5,206頭	88戸	5,347頭	△6戸	△141頭
肉用牛	135戸	10,503頭	136戸	10,620頭	△1戸	△117頭
豚	25戸	20,940頭	27戸	22,408頭	△2戸	△1,468頭
採卵鶏	14戸	151,220羽	14戸	143,950羽	—	7,270羽
ブロイラー	20戸	1,300,200羽	19戸	1,290,870羽	1戸	9,330羽

(2) 各事業別の実施状況調べ

(平成23年12月31日現在)

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備 考
家畜伝染病予防事業	ブルセラ病	検査	4月～12月	管内一円	1,030頭	1,289頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除57頭を含む
	結核病	〃	〃	〃	2,390頭	1,309頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除329頭を含む
	コネ病(ELISA)	〃	〃	〃	2,792頭	2,481頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除441頭 家畜伝染病予防法第51条による立入検査174頭を含む
	牛伝染性疾病	〃	〃	〃	14,000頭	11,720頭	
	豚伝染性疾病	〃	〃	〃	20,000頭	20,212頭	
	鶏伝染性疾病	〃	〃	〃	129,000羽	118,600羽	
	馬伝染性疾病	〃	〃	〃	5頭	4頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除4頭を含む
	めん山羊伝染性疾病	〃	〃	〃	15頭	16頭	

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜伝染病予防事業	ひな白痢	検査	4月～12月	管内一円	3,000羽	3,680羽	
	マイコプラズマ病	〃	〃	〃	3,000羽	3,680羽	
	ニューカッスル病	〃	〃	〃	4,350羽	4,870羽	種鶏3,680羽、その他1,190羽
	ふそ病	〃	9月	〃	100群	40群	
	アハ病等	〃	6月～11月	〃	72頭	84頭	
	牛ウイルス性下痢・粘膜病	〃	4月～12月	〃	90頭	82頭	
	牛サルモネラ	〃	〃	〃	300頭	497頭	
	牛白血病	〃	〃	〃	1,250頭	1,476頭	
	オースキー病	〃	〃	〃	580頭	520頭	
	豚コレラ抗体	〃	〃	〃	335頭	292頭	
	豚コレラ症	〃	〃	〃	150頭	209頭	
	PRRS抗体	〃	〃	〃	335頭	263頭	
	豚流行性下痢	〃	〃	〃	335頭	335頭	
	鳥インフルエンザ	〃	〃	〃	500羽	350羽	
	鶏コレラ症	〃	〃	〃	200羽	253羽	
	ブルセラ病	証明	〃	〃	—	2件・30頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除30頭を含む
	結核病	〃	〃	〃	—	2件・30頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除30頭を含む
	マネ病	〃	〃	〃	—	2件・30頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除30頭を含む
	死亡牛BSE検査	検査	〃	県内	420頭	346頭	
	種畜検査(牛)			4月～12月	管内一円	—	53頭
病性鑑定	〃	〃	4月～12月	〃	—	578件	

事業別	業務内容		実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜衛生対策事業	診断予防技術向上		検査指導	4月～12月	管内一円	1戸・20頭	1戸・16頭	ヨ一ネ病
	動物用医薬品危機管理		検査指導	4月～12月	管内一円	8戸・8検体	6戸・6検体	耐性菌実態調査～3月予定
			〃	〃	〃	1業者・1品目	0業者・0品目	動物医薬品品質検査～3月予定
			〃	〃	〃	酪農:88戸	酪農:0戸	動物医薬品使用実態調査～3月予定
			立入検査	〃	〃	18店舗	0店舗	～3月予定(18店舗)
			許可更新等	〃	〃	—	許可更新2件 書換交付2件	
	地域衛生管理対策	飼養衛生管理基準等の確認	確認指導	4月～12月	管内一円	牛:224戸 豚:27戸	牛:224戸 豚:27戸	
			乳房炎	検査指導	4月～12月	管内一円	174検体	76検体
			会議等	〃	〃	検討会議1回以上	検討会議0回	～3月予定
		幼獣疾病対策	調査指導	4月～12月	管内一円	牛5戸:豚5戸×4回	牛5戸:豚5戸×3回	～3月予定
会議等					検討会議1回以上	検討会議1回		
養豚繁殖衛生の推進		調査指導	4月～12月	管内一円	豚5戸×12回	豚5戸×9回	～3月予定	
		会議等	〃	〃	検討委員会1回以上	検討委員会1回		
流通飼料対策		検査指導	4月～12月	管内一円	1業者・1品目	0業者・0品目	肉骨粉検査～2月予定	
					牛:10戸	牛:10戸	立入検査	

2.4 家畜病性鑑定事業

(1) 家畜病性鑑定の状況調べ

(平成23年12月31日現在)

家畜別	病 性 別	受付件数	鑑定済件数	鑑定未済件数
乳用牛	異常産	2	1	1
	ウイルス検査	3	3	
	飼料検査	1	1	
	病理検査	5	3	2
	血液プロファイル	1	1	
	サーベイランス事業	10	9	1
	ウイルス遺伝子検査	7	7	
	全身性疾患	9	6	3
	生化学検査	1		1
	小 計	39	31	8
肉用牛	ウイルス検査	3	2	1
	神経系疾患	1	1	
	病理検査	6	1	5
	急性全身性疾患	1	1	
	血液プロファイル	12	12	
	飼料検査	5	5	
	ウイルス遺伝子検査	3	3	
	細菌検査	5	5	
	全身性疾患	3	2	1
	小 計	39	32	7
豚	細菌検査	2	2	
	細菌遺伝子検査	2	2	
	全身性疾患	4	3	1
	病理検査	1	1	
	ウイルス遺伝子検査	3	2	1
	小 計	12	10	2
馬	ウイルス抗体検査	4	4	
	小 計	4	4	0
鶏	運動器疾患	1	1	
	細菌検査	1	1	
	病理検査	1	1	
	全身性疾患	4	4	
	サーベイランス事業	28	24	4
	小 計	35	31	4
合 計		129	108	21

(2) 項目別病性鑑定実施状況調べ

(平成23年12月31日現在)

区 分		細菌	ウイルス	寄生虫	生化学	病理	環境保全	その他	計
乳用牛	件数	2	25	1	2	8			38
	検体数	13	329	30	22	10			404
肉用牛	件数	5	9		17	4			35
	検体数	10	23		97	4			134
豚	件数	6	4			2			12
	検体数	11	23			4			38
馬	件数	4							4
	検体数	169							169
羊・山羊	件数								
	検体数								
鶏	件数	1	29			6			36
	検体数	1	903			15			919
その他	件数								
	検体数								
計	件数	14	71	1	19	20	0	0	125
	検体数	35	1447	30	119	33	0	0	1664

(3) BSE検査実績

死亡牛検査 346頭 (平成23年12月31日現在)

2.5 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

なし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

なし